

國民體力法中改正法律の公布

第七十九回帝國議會の協賛を経たる國民體力法中改正法律は昭和十七年二月二十一日付官報を以て公布せられたが、之を掲ぐれば次の如くである。

國民體力法中改正法律

(昭和十七年二月二十日 法律第三十七號)

國民體力法中左ノ通改正ス

第二條中「未成年者」ヲ「年齡二十六年未滿ノ男子及年齡二十年未滿ノ女子」ニ改ム

第三條 本法ニ於テ保護者ト稱スルハ左ニ掲グル者ニシテ本法施行地内ニ居住地ヲ有スルモノヲ謂フ

一 未成年者タル被管理者ニ對シ親權ヲ行フ者(親權ヲ行フ者ナキトキハ後見人又ハ後見人ノ職務ヲ行フ者)

二 禁治產者タル被管理者ノ後見人

第四條第一項中「年齡二十年ニ達セザルモノ」ヲ「年齡二十六年ニ達セザル男子及年齡二十年ニ達セザル女子」ニ改メ同項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

同條第二項中「前項ノ被管理者」ヲ「前項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スル被管理者(以下第四條第一項ノ被管理者ト稱ス)」ニ改ム

第五條第一項中「前條第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スル」ヲ「第四條第一項ノ」ニ、同條第二項中「被管理者ニシテ前條第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スルモノ」ヲ「第四條第一項ノ被管理者」ニ改ム

第六條 第四條第一項ノ被管理者(同條第二項ノ規定ニ依リ義務者アル場合ハ其ノ義務者)ハ被管理者ノ

氏名、生年月日其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項ヲ被管理者ノ居住地ノ市町村長ニ届出ヅベシ但シ命令ヲ以テ定ムル被管理者ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

第六條ノ二 地方長官ハ國民體力ノ向上ヲ圖ル爲テ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第四條第一項ノ被管理者ニ非ザル者ニ付テモ體力検査ヲ受ケシムルコトヲ得

前項ノ體力検査ハ第五條第二項ノ學校又ハ幼稚園ニ在學又ハ在園スル者ニ關スル場合ヲ除クノ外地方長官之ヲ行フ但シ事宜ニ依リ同條第一項ノ規定ニ準ジ市町村長又ハ事業主若ハ管理人ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第四條第二項、第五條第二項、第十條乃至第十二條、第十三條及第十四條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リ

體力検査ヲ受クルコトヲ要スル者ニ關シ、第八條第二項乃至第四項ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要シ又ハ要シタル者ニシテ體力手帳ノ交付ヲ受ケタルモノニ關シ之ヲ準用ス此ノ場合

ニ於テハ第四條第二項、第八條第四項、第十一條又ハ第十二條中保護者トアルハ第六條ノ二第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スル者ニシテ未成年者又ハ禁治產者タルモノニ付親權ヲ行フ者、後

見人タル者又ハ後見人ノ職務ヲ行フ者ニシテ本法施行地内ニ居住地ヲ有スルモノトシ第十三條第一項中第五條第一項トアルハ第六條ノ二第二項トシ第十三條第二項中第五條第一項、第六條トアルハ第六條、第六條ノ二第二項トス

第八條第一項中「被管理者」ヲ「第四條第一項ノ被管理者」ニ同條第三項中「前二項」ヲ「前四項」ニ改メ同

條第一項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ
第四條第一項ノ被管理者ノ體力検査ノ結果ハ體力手帳ニ之ヲ記載スルモノトス第十條乃至第十二條ノ規定ニ依リ體力向上ニ關スル指導若ハ指示ヲ爲シ又ハ

療養ニ關スル處置ヲ命ジタルトキ亦同ジ
命令ヲ以テ定ムル體力ニ關スル検査ヲ行フ者體力手帳ノ交付ヲ受ケタル第四條第一項ノ被管理者ヲ検査シタルトキハ其ノ結果ヲ體力手帳ニ記載スベシ醫師

體力手帳ノ交付ヲ受ケタル第四條第一項ノ被管理者ニ付命令ヲ以テ定ムル疾病ニ罹レルモノト診斷シタルトキ亦同ジ
第九條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

國民體力管理醫ハ其ノ職務ノ執行ニ當リテハ國民體力ノ向上ニ關スル國策ノ遂行ニ努ムルヲ旨トスベシ

第十一條及第十二條第一項中「體力検査」ノ下ニ「命令ヲ以テ定ムル體力ニ關スル検査又ハ他ノ法令ニ依リ醫師ヨリノ患者診斷ノ届出」ヲ加フ

第十二條ノ二 主務大臣又ハ地方長官ハ體力検査ニ基キ國民體力ノ向上ヲ圖ル爲テ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ公共團體其ノ他ノ法人又ハ團體ニ對シ體力向上ニ關シ處置又ハ施設ヲ爲スコトヲ指示スルコトヲ得

第十三條第一項中「第十條乃至前條」ヲ「第十條乃至第十二條」ニ、同條第二項中「第八條第一項第二項及第十條乃至前條」ヲ「第八條第一項乃至第四項及第十條乃至第十二條」ニ改ム
第十四條ノ二 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依

ル地方長官ノ職權ノ一部ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保
健所ノ長ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第十五條第一號中「第五條第一項但書ノ規定ニ依ル地
方長官ノ命令」ヲ「第五條第一項但書ノ規定（第六條ノ

第二項但書ノ規定ニ依リ準ズル場合ヲ含ム）ニ依ル
命令」ニ改メ同條第二號中「被管理者、保護者又ハ第四

條第二項但書ノ規定ニ依ル義務者」ヲ「被管理者（第六
條ノ第二項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要

スル者ヲ含ム）、保護者（第六條ノ第二項ノ規定ニ依
リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スル者ニシテ未成年者又

ハ禁治産者タルモノニ付親權ヲ行フ者、後見人タル者
又ハ後見人ノ職務ヲ行フ者ニシテ本法施行地内ニ居住

地ヲ有スルモノヲ含ム）又ハ第四條第二項但書ノ規定
（第六條ノ第二項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）

ニ依ル義務者」ニ改ム

第十六條第一號中「第四條第二項ノ規定」ノ下ニ「（第六
條ノ第二項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム）」ヲ、

「被管理者」ノ下ニ「（第六條ノ第二項ノ規定ニ依リ體
力検査ヲ受クルコトヲ要スル者ヲ含ム）」ヲ加フ

附則第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第八條第一項ノ規定ハ第二條ノ規定ニ該當スル者ニ
シテ前項ノ規定ニ依リ被管理者タラザルモノノ中命

令ヲ以テ定ムル者ガ體力検査ヲ受ケタル場合ニ之ヲ
準用ス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔參照〕
昭和十五年四月八日法律第百五號國民體力法抄錄
第二條 本法ニ於テ被管理者ト稱スルハ本法施行地

内ニ居住地（一定ノ居住地ナキ者ニ付テハ命令ヲ
以テ定ムル地トス以下之ニ同ジ）ヲ有スル帝國臣
民タル未成年者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當セザル
モノヲ謂フ

一 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ（未ダ入營セ
ザル者及歸休下士官兵ヲ除ク）又ハ戰時若ハ事

變ニ際シ召集中ノモノ
二 陸海軍ノ學生生徒

三 其ノ他勅令ヲ以テ定ムル者

第三條 本法ニ於テ保護者ト稱スルハ被管理者ニ對
シ親權ヲ行フ者（親權ヲ行フ者ナキトキハ後見人

又ハ後見人ノ職務ヲ行フ者）ニシテ本法施行地内
ニ居住地ヲ有スルモノヲ謂フ

第四條 被管理者ニシテ其ノ年十一月三十日ニ於テ
年齡二十年ニ達セザルモノハ本法ノ定ムル所ニ依

リ體力検査ヲ受クルコトヲ要ス

保護者ハ前項ノ被管理者ヲシテ體力検査ヲ受ケシ
ムル義務ヲ負フ但シ被管理者ヲ教育、監護又ハ使

用ノ目的ヲ以テ寄寓セシムル者アル場合ハ其ノ者
ニ於テ其ノ義務ヲ負フ

第五條 市町村長ハ前條第一項ノ規定ニ依リ體力檢
查ヲ受クルコトヲ要スル被管理者ニシテ其ノ市町

村内ニ居住地ヲ有スルモノノ體力検査ヲ行フベシ
但シ事務所、商店、工場、事業場等ノ事業主又ハ

管理人ニシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ヨリ
體力検査ヲ行フコトヲ命ゼラレタルモノハ其ノ事
務所、商店、工場、事業場等ニ使用セラルル被管

理者ニシテ同條前項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受ケ
ルコトヲ要スルモノノ體力検査ヲ行フベシ

勅令ヲ以テ定ムル學校又ハ幼稚園ニ在學又ハ在園
スル被管理者ニシテ前條第一項ノ規定ニ依リ體力
検査ヲ受クルコトヲ要スルモノノ體力検査ハ前項

ノ規定ニ拘ラズ當該學校長又ハ園長之ヲ行フベシ

第六條 第四條第二項ノ規定ニ依ル義務者ハ被管理
者ノ氏名、生年月日其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

ヲ被管理者ノ居住地ノ市町村長ニ届出ヅベシ但シ
前條第二項ノ被管理者ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 被管理者體力検査ヲ受ケタルトキハ本人又
ハ保護者ニ對シ體力手帳ヲ交付ス

體力手帳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被管理者若ハ保
護者又ハ被管理者若ハ保護者タリシ者ニ於テ之ヲ

保存シ體力検査其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ニ之
ヲ提示スベシ

前二項ニ定ムルモノノ外體力手帳ニ關シ必要ナル
事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 國民體力管理醫ハ體力検査ニ於テ被管理者
ヲ檢診シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ

本人又ハ第四條第二項ノ規定ニ依ル義務者ニ對シ
被管理者ノ體力向上ニ關スル指導ヲ爲スベシ

第十一條 地方長官ハ體力検査ニ基キ必要アリト認
ムルトキハ被管理者ニ付本人又ハ保護者ニ對シ國

又ハ公共團體ノ體力向上施設ノ利用、就業ノ場所
又ハ時間ノ制限、業務ノ變更其ノ他ノ體力向上ニ

關スル指示ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要ア
リト認ムルトキハ被管理者ヲ使用スル者ニ對シテ

モ之ヲ爲スコトヲ得
第十二條 地方長官ハ體力検査ニ基キ必要アリト認
ムルトキハ主務大臣ノ指定スル疾病ニ罹レル被管

理者ニ付本人又ハ保護者ニ對シ療養ニ關スル處置ヲ命ズルコトヲ得但シ官立ノ學校又ハ公立若ハ私立ノ大學、專門學校、實業專門學校、高等學校若ハ之ニ準ズベキ學校ニ在學又ハ在園スル被管理者ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得前項ノ處置ヲ命ゼラレタル者貧困ノ爲其ノ義務ヲ履行スルコト能ハザルトキハ地方長官ハ其ノ者ノ申請ニ依リ國民體力管理醫ニ就キ療養ノ指導ヲ受ケシムルコトヲ得

第十三條 國又ハ道府縣ノ事業ニ使用セラルル被管理者ニ關シ第五條第一項及第十條乃至前條ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

監獄、矯正院、少年教護院其ノ他勅令ヲ以テ定ムル施設ニ在ル被管理者ニ關シ第四條第二項、第五條第一項、第六條、第八條第一項第二項及第十條乃至前條ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付亦前項ニ同ジ

第十四條 被管理者ヲ使用スル者ハ體力検査ノ結果ヲ不當ニ援用シテ被管理者ニ對シ不利益ナル取扱ヲ爲スコトヲ得ズ

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 第五條第一項但書ノ規定ニ依ル地方長官ノ命令ニ違反シ體力検査ヲ行ハザル者
- 二 被管理者、保護者又ハ第四條第二項但書ノ規定ニ依ル義務者ノ義務履行ヲ妨ゲタル者

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

一 第四條第二項ノ規定ニ依ル義務者ニシテ被管

理者ヲシテ體力検査ヲ受ケシムル爲必要ナル措置ヲ爲サザルモノ

附則第二項 當分ノ内被管理者ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ限定スルコトヲ得

會社經理統制令及賃金統制令の施行規則中一部改正の件公布

昭和十七年一月閣議決定を見たる家族手當の支給に關する件に就いては本誌前號本欄所報の如くであるが、之に基く會社經理統制令及び賃金統制令の兩施行規則の改正は夫々閉令及び厚生省告示として公布を見るに到つた。之を掲ぐれば次の如くである。

會社經理統制令施行規則中改正ノ件

(昭和十七年二月二十八日 閣令 第四號)

會社經理統制令施行規則中左ノ通改正ス

第十九條 令第二十條第四號ノ家族手當ハ社員ニ對シ

其ノ扶養家族一人ニ付月三圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額ヲ超エザル金額ニ依リ支給スルモノニ限ル

前項ノ扶養家族ハ左ニ掲グル者ニシテ主トシテ當該社員ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノヲ謂フ

- 一 配偶者(届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム)
- 二 滿六十歳以上ノ直系尊屬ニシテ本人ト同一戸籍内ニ在ル者
- 三 滿十八歳未滿ノ直系卑屬ニシテ本人ト同一戸籍内ニ在ル者
- 四 不具發疾者ニシテ本人ト同一戸籍内ニ在ル者

附則 本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

昭和十五年十月十日 閣令第十三號會社經理統制令施行規則抄録

第十九條 令第二十條第四號ノ家族手當ハ基本給料

月額百圓以下ノ者ニ對シ其ノ扶養家族一人ニ付月

二圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額(其ノ金額ガ十

圓ヲ超ユルトキハ十圓)ヲ超エザル金額ニ依リ支

給スルモノニ限ル

前項ノ扶養家族ハ左ニ掲グル者ニシテ主トシテ當該社員ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スル者ヲ謂フ

- 一 配偶者(届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム)
- 二 滿六十歳以上ノ父母ニシテ本人ト同一戸籍内ニ在ル者
- 三 滿十八歳未滿ノ子ニシテ本人ト同一戸籍内ニ在ル者
- 四 不具發疾者ニシテ本人ト同一戸籍内ニ在ル者

賃金統制令施行規則中改正ノ件

(昭和十七年二月十七日 厚生省告示第七十四號)

賃金統制令施行規則第九條第二號ノ規定ニ依リ最低賃

金ニ含マザル手當ヲ左ノ通指定シ昭和十七年四月一日

ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年七月厚生省告示第三百九號ハ本告示施行ノ日

ヨリ之ヲ廢止ス

- 一、家族手當 勞務者ニ對シ其ノ配偶者(届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム)

昭和十六年七月厚生省告示第三百九號ハ本告示施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一、家族手當 勞務者ニ對シ其ノ配偶者(届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム)